

**社会福祉法人施設における介護職員の経営理念浸透プロセスと浸透レベル**

○ 佐賀女子短期大学 羅 珉京 (7853)

キーワード3つ：社会福祉法人施設、介護職員、経営理念浸透

**1. 研究目的**

本研究の目的は社会福祉法人施設に従事する介護職員の経営理念を理解するプロセスと浸透レベルを明らかにすることである。経営理念の機能と役割が介護福祉人材の確保や育成と深く関係していることが報告されている。人材確保や定着の課題は依然として解消されない中、「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」(2015)では、地域住民の参画と協働による共生社会の実現のために、人材の確保・育成に向けた取組の促進が強調されている。このような状況の中、人材難の改善につながる有効な手段として経営理念の機能に着目しそれを十分に発揮させることが急務と考える。社会福祉法人施設においても経営理念の重要性を認識し、経営理念を十分に機能させれば、人材確保や定着とともに経営体制の充実を図ることができるかもしれない。しかし、これまで介護福祉人材の育成や定着に関連する経営理念研究や社会福祉施設の経営理念浸透に関する研究はほとんどなされていない。そこで本研究では社会福祉法人施設に従事する介護職員がどのように経営理念を理解しているかを明らかにし、施設の理念浸透のモデル構築を試みたい。

**2. 研究の視点および方法**

本研究の目的を達成するため、社会福祉法人が経営する高齢者施設の介護職の中堅職員を対象に半構造化インタビュー調査を実施した。インタビュー項目は経営理念の役割に対する考え方・印象、経営理念を共有するための方法、経営理念を理解した経験、経営理念を共有するために必要な要素についてである。調査時期は2018年2月～3月で、一人60分～90分のインタビューを行った。インタビュー結果はすべて逐語録を作成し、佐藤(2008)の質的データ分析法を参考に分析を行った。また分析過程において適宜ソフトウェアであるMAXQDAを用いた。

**3. 倫理的配慮**

調査に当たっては、日本社会福祉学会の「研究倫理指針」に基づいて行った。調査対象者へは事前に書面にて調査研究の趣旨を説明し、同意を得て調査を実施した。収集したデータについては匿名化し処理を行った。個人が特定できるようなデータについては、調査協力者以外の目に触れぬよう鍵付きのファイル等に保管し、必要がなくなり次第破棄した。

#### 4. 研究結果

インタビュー調査で得られたデータをもとに、田中(2016)<sup>i</sup>の経営理念浸透プロセスと浸透レベルに関する分析枠組みに沿いながら結果をまとめた。結果、介護中堅職員の経営理念の浸透プロセスは、①上司や経営者からの説明・言い伝え、②上司や経営者の言動を観察、③部下の教育研修を任されるような新たな経験、が共通してみられた。

経営理念の浸透レベルは6段階で構成される。第1レベルは「経営理念を認識している」で、理念の文言を知っている、理念の文言を覚えている段階である。第2レベルは「理念を主観的に解釈できる」で、理念を象徴するような具体例やモデルを知っている、理念を自分なりに解釈できる、理念に基づく行動とはどのようなものかを考えることができる段階である。第3レベルは「理念を客観的に理解できる」で、理念を感じる経験をしたことがある、理念を組織に沿った視点で理解できる、理念を行動に反映させることができる段階である。第4レベルは「理念が納得できる」で、転機となる経験をしたことがある、理念が腑に落ちる、理念の意味を自分の言葉で説明できる段階である。第5レベルは「理念が前提になる」で、理念が行動の前提になる、理念にこだわる段階である。第6レベルは「理念が信念になる」で理念を信じて疑わない段階である。本調査では介護中堅職員のほとんどが第4レベルであった。ただ理念の文言の具体性や量などによっては各レベルにおいて違いがみられた。

#### 5. 考察

本研究では介護職員の理念浸透において、介護職員個人の経験、施設の文化、上司との関係の振り返りなどが理念をより深化させる要素と見受けられた。また介護職の中堅職員が認識、解釈、理解、納得、前提、信念といった理念の浸透レベルを着実に踏むためには、介護職員がやる気もらい、職場の定着へつながる環境を創りだすことが求められる。経営者のリーダーシップや、経営者が理念内容を繰り返し言動で示したり職員と接して語ることが理念浸透に有効であると示されるように、これらを一層強化していく必要がある。くわえて経営理念の文言そのものが浸透プロセスや浸透レベルに与える影響が少なくないことが浮き彫りになった。文言の内容や表現の見直しを図ることが肝要と考えられる。

\*本研究は、科学研究費助成事業(課題番号：17K04300、研究課題名：地域福祉推進に向けた社会福祉法人の経営理念浸透モデル開発：日韓比較研究を通して)における研究成果である。

<sup>i</sup> 田中雅子(2016)『経営理念浸透のメカニズム』中央経済社